

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和3年度第2回みよし市行政評価委員会		
開催日時	令和3年8月24日(火) 午後1時25分から午後3時20分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室4、5		
出席者	(会長) 村松幸廣 (副会長) 望月恒男 (委員) 野々山幸隆、鈴木豊實、富田義親、鈴木文生 ※敬称略 (説明者) 村山歴史民俗資料館長、堀主任主査、 廣瀬環境経済部次長兼産業課長、田中企業立地推進室長、 二子石健康推進課長、早田副主任、 久野都市建設部次長兼道路河川課長、枅川主任主査、 岡田教育部次長兼教育行政課長、 成田ゼロカーボン推進監兼環境課長、三浦副主幹 (事務局) 村田政策推進部長、澤田政策推進部参事、 富田政策推進部次長兼企画政策課長、加藤副主幹、森主事		
次回開催予定日	令和3年10月4日(月)		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 森 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 富田次長	皆さま、こんにちは。 時間より少し早いわけですが、皆さまお揃いであり、傍聴の申し出もなかったため、始めさせていただきたいと思います。 はじめに、礼の交換をさせていただきます。恐れ入りますがご起立をお願いします。 一同礼。ご着席ください。 私は本日の典礼を務めさせていただく、政策推進部次長の富田です。よろしくお願いいたします。 委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、また新型コロナウイルス禍の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。 感染予防対策のため、会議室を広く使い、会議中の発言につきましては、マスクをつけたまま発言をしていただきますようお願いいたします。聞きづらい部分もあるかと思いますが、マイクを用意させていただきましたので、利用してください。 それでは、会議に先立ちまして、村松会長よりごあいさつをいただきます。		
村松会長	皆さま、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。 事務局の方々もよろしくお願ひしたいと思います。 コロナが非常に蔓延しており、危機的な状況となっているため、本日の会議に		

	<p>つきましては、皆さまにも協力いただき、できれば1時間30分ほどで終わられればと思っています。</p> <p>また、忌憚のないご意見、ご質問をしていただき、有意義な会議としていただければと思います。</p> <p>簡単ですが、私のあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
典 礼 富田次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本委員会の流れを事務局より説明させていただきます。</p>
事務局	<p>企画政策課の森と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の委員会では、前回の委員会で選定いただいた外部評価対象事務事業のヒアリングを行っていただきます。</p> <p>一つの事業につき、担当課による事業の説明、質疑応答を含め、15分程度を予定しており、次第のヒアリング日程表に沿って進めさせていただきます。</p> <p>また、ヒアリングを踏まえ、事前にお配りしています外部評価シートに各事業の評価をご記入いただきたいと思っておりますので、簡単ではございますが、記入方法の説明をさせていただきますので、評価シートをご確認ください。</p> <p>外部評価の評価基準につきましては、昨年度同様、「妥当性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」の評価項目に基づき、評価を行っていただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、評価シートにはそれぞれの評価項目につき、選択制でチェックをいれていただくような様式になっておりますが、評価項目ごとで判断した理由等を右枠の記入欄にできる限りご記入いただくと助かります。</p> <p>評価シートにつきましては、本委員会終了後ご記入の上、提出いただくか、お手元にあります返信用封筒にて後日郵送で提出いただいても構いませんのでよろしくお願いいたします。</p> <p>説明は以上になります。</p>
典 礼 富田次長	<p>それでは議事に入らせていただきます。村松会長の議事進行でよろしくお願いいたします。</p>
村松会長	<p>それでは、本日の議題であります外部評価対象事務事業のヒアリングを行っていきたいと思っております。案件が6事業あり、少し時間がかかるかもしれませんが、時間内で行いたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、郷土芸能伝承活動発表会開催事業について、お願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局から、各担当課による説明の前に評価対象事業となった経緯の説明をさせていただきます。</p> <p>本日机上に置かせていただいた参考資料に、市側で実施した評価対象事業の1次評価結果を記載しておりますので、併せてご確認くださいと思います。</p> <p>それでは、郷土芸能伝承活動発表会開催事業についてですが、こちらは、市側で挙げさせていただいた事業になります。郷土芸能への関心を深めてもらうことなどを目的として、本発表会を毎年開催しておりますが、来場者は身内の人が多く事業としてもマンネリ化しているのが現状で、保存団体からも開催意義について問われることもありました。今後の方向性を「縮小」としてはありますが、委員の方から事業を進めるにあたってのご意見を伺えればと思います。それでは、資料館より説明をお願いします。</p>
村山歴史民俗資料館長	<p>歴史民俗資料館長の村山です。よろしくお願いいたします。</p> <p>郷土芸能伝承活動発表会開催事業についてご説明いたします。</p> <p>みよし市にはお囃子、棒の手、巫女舞などの郷土芸能が昔から伝わっており、この郷土芸能を伝承するために、各地区で保存活動が行われています。</p> <p>資料館では、この保存活動を支援し、また、郷土芸能に対する関心を深めてもらうため、郷土芸能伝承活動発表会を毎年開催しております。</p> <p>郷土芸能伝承活動発表会は、資料館が開館した昭和57年から令和元年度まで37</p>

	<p>回開催してきました。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。以前と比べると、参加団体も増え、令和元年度では、お囃子7団体、棒の手1団体、巫女舞3団体、太鼓2団体の計13団体で、大人たちによる模範演技を含めると14演目になります。</p> <p>発表会にかかる事業費については、令和元年度の決算額では、約484千円でした。主な内訳としまして、司会者・出演団体への謝礼が285千円、ポスター・チラシ等の印刷製本費が約110千円、会場であるサンアートの大ホール等の使用料、資機材の使用料が約890千円などです。中止となりましたが、本年度の予算額は、総合体育館での開催を予定していたため、新規での会場の設備委託、また、会場使用料等がサンアートよりかかることもあり、金額が高くなっております。</p> <p>今後の方向性としましては、対象となる郷土芸能の保存団体の大半が参加していることや、参加することに対して直接反対意見もありませんし、廃止することにより、活動の低下や伝統文化を保存し、次世代に継承することが困難になることも考えられます。</p> <p>また、秋の祭りの本番に向けた練習成果の発表の場でもあり、郷土芸能のPRという点で意義のあるものだと考えています。</p> <p>このような理由から、引き続き発表会を続けていく方向で考えておりますが、参加団体から観覧者数の向上を要望する声も出ております。</p> <p>また、半日で14演目の発表を実施するなど、演目の超過など今後の開催運営の方法については検討する必要があります。</p> <p>このような課題を解決するために、現在の保存団体が一堂に集まり、発表する方法にこだわらず、違った発表会の開催方法についても考えていくことも大切であると考えております。</p> <p>以上説明とさせていただきます。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。何か質問や聞いてみたいこと、何でも結構ですが、挙手をしてご発言いただければと思います。</p>
野々山委員	<p>野々山でございます。</p> <p>事業費を見ると、令和4年度以降半額ぐらいになってはいますが、何か見直しを考えているのかということ、また、お客さんが少ないということで、サンアートを会場とすることも結構ですが、例えば祭りの会場で外郭団体にも委託をして開催する方法もあるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
村山歴史民俗資料館長	<p>1点目の事業費につきましては、先ほど少し説明いたしましたように、令和2年度、3年度につきましては、総合体育館を会場として開催する予定であったため、設備委託や会場使用料が高くなっています。令和4年度以降につきましては、会場をサンアートに戻す関係で、事業費が低くなっています。</p>
野々山委員	<p>サンアートの方が安いのですか。</p>
村山歴史民俗資料館長	<p>サンアートであれば、大ホール、控え室等の利用のみですが、総合体育館の場合は、全部屋を確保する必要があるため、金額が高くなっています。</p> <p>2点目のお祭り会場での開催というご意見でございますが、今まで検討したことがなく、はっきりしたお答えができませんが、発表会自体がお祭りでの発表に向けての練習機会ということもあり、祭りの会場で開催した場合、時期的な問題、また、現在13団体に出演いただいております、時間内に全団体が発表するのは、少し難しい部分があるかと考えております。</p>
野々山委員	<p>分かりました。以前、夏祭りの会場で、棒の手だとかそういうものやってみえた気がしますので、できないことはないのかなと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>お囃子は4団体夏祭りの会場で行っていますが、そこへ棒の手も入れてやっていた時代があったと思います。</p> <p>例えば、委託をして夏祭りの会場で行った場合、費用は減ると思います。巫女舞については、秋祭りで、立派な神社で毎年行われていますが、そこで披露できれば、別に発表会を開催しなくてもできるような気もしますが、いかがでしょうか。</p>

村山歴史民俗資料館長	そういった方向でも開催できないか、一度検討させていただきたいと思います。
村松会長	その他、何かございますか。
望月副会長	望月です。 少し確認をさせていただきたいのですが、先ほどの説明で演目が多すぎるため、今後絞り込みを行いたいというようなことでしたが、例えばこのチラシを拝見しますと、開始時間が午後1時20分からとなっています。開始時間を早くして、時間を確保するといったことは検討されなかったのですか。あるいは、午後だけに絞っているのは、会場使用料の問題ですか。 チラシにも各団体の写真が載っていますが、比較的若い方もいますので、演目を絞るのではなく、発表の機会であるため、機会を提供する方向で何か検討されなかったのですか。
村山歴史民俗資料館長	以前から半日での開催方法をとっていたため、1日かけての開催について今まで考えておりませんでした。 使用料については、予算的な問題のため、1日かけて開催するというのであれば、予算の確保は可能であります。 今までの例でいいますと、出演団体の方が出演を終えると帰ってしまうといったこともあり、観覧者数の問題も考慮し、短時間で集中して行ったほうが良いのではないかと考え、半日としていましたが、1日かけての開催も可能ではあるかと思っています。
村松会長	他にいかがでしょうか。
富田委員	伝承活動発表会は9月中旬に行っているとのことですが、お祭りをターゲットにし、その前に練習成果を伝承活動発表会で披露しているかと思っています。私の住む地域でも、巫女舞はかなり前から練習をしています。正直言いますと、練習疲れになってしまっているということもありますので、一旦お祭りが終わってからの伝承活動でも良いかと思っています。 もう一つは、伝承活動発表会を開催しても、先ほど説明があったように、人が集まらないのが現状だと思いますので、地域でまずお披露目をして、それから十分PRした後に伝承活動の発表会を開催した方が、意義があるような気がします。僕は発表会を縮小、場合によっては廃止としても良い気はしますが、開催するならば、手法を考えていかなければならないと思います。やはり地域が主体のため、地域内でしっかりとPRをしていくべきだと思いますが、いかがでしょうか。
村山歴史民俗資料館長	同様のご意見を今までにいただいたこともありました。 各団体によっても、考え方はいろいろあるかと思っていますので、意見を集約した上で、開催時期をお祭りの前なのか後なのか、検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
村松会長	検討事項ということでお願いします。 その他、何かございますか。 【意見なし】 説明いただきありがとうございます。ありがとうございました。 続きまして、ビジターセンター管理事業についてよろしく願いいたします。
事務局	ビジターセンター管理事業についてですが、こちら、市側で挙げさせていただいた事業になります。「三好ヶ丘駅」駅前の活性化とにぎわいの創出を目的に、みよし市ビジターセンターをカリヨンハウス1階に設置していますが、駅の利用者は通勤・通学者が大部分で施設の設置目的を達成させることが難しく、新たな活用方法の検討などが必要と考えています。今後の方向性は「現状維持」としてはありますが、委員の方からご意見を伺えればと思います。それでは、産業課より説明をお願いします。
廣瀬環境経済部次長 兼産業課長	環境経済部次長兼産業課長をしております廣瀬と、産業課主幹の田中と申します。よろしく願いいたします。 ビジターセンター管理事業についての事業概要ですが、総合計画におきまして

は、三好ヶ丘駅を本市の北の玄関口の一つとして位置づけるとともに、駅前周辺をにぎわい、商業地のゾーンとして土地利用することとされております。

みよし市ビジターセンターはこの方針の一翼を担うため、カリヨンハウスの1階に開設され、本市への来訪者や市民に対し、本市の産業や観光PRをするとともに、ギャラリーとしても市民に開放しております。

具体的に、令和2年度の事業内容ですが、グランパスコーナー、刑務所及びシルバー人材センターの製作品の展示即売、また、市内に立地している企業のパネル展示やパンフレットを配置しております。

ビジターセンターの運営管理につきましては、1名を常駐させるということで、シルバー人材センターに依頼をしております。この方に、来訪者に対し、市のイベントや市の産業の紹介、飲み物販売などの業務を行っていただいております。

また、一方で、毎年みよし市ビジターセンター企画運営検討委員会を開催し、ビジターセンターにおいてこういった取組が効果的であるかというような議論をしていただいておりますが、実効性のある具体的な提案はなかなか出てこないというのが現状でございます。

本事業の必要性について、三好ヶ丘周辺については、土地利用でも住宅地ということで、計画が複数ございます。こうしたことから、市外で仕事等をしている、夜間住民と言われるような方々が今後もメインとなり、カリヨンハウス周辺は、商業地よりも住宅としてのニーズが高いのかなということが推測されます。

また、ビジターセンターは、市民も利用する交流施設のあるカリヨンハウス内にごございます。ビジターセンターについては、若干開設目的や機能が異なっていることから、相対的に市民の皆さまの関心や理解については、高くないのかなということも推測されます。

一方で、行政が関与することについてですが、尾三地区5市町の情報を発信するという機能を有していることから、一定の公益性があると考えております。

本事業の実績や事業状況等ですが、資料に記載したとおり、平成29年度から本年度までで、利用者は増加していますが、利用目的について、主にトイレ、施設見学、周辺に学習塾等もあり、お迎えを待つ一時的な待機のため、というのが約半数を超えています。

次いで、展示品や飲料の購入が30%から35%であり、こうしたことから、ビジターセンターの実態としては、休憩や時間調整の利用が多いと推定されます。

一方で、最初に述べました市来訪者や市民に対する本市の産業の紹介という部分でいきますと、人数については、少し悲しい部分があります。

近隣市町の状況について、ビジターセンターと同様の機能、管理方法を採用している事例はありませんでしたが、他市町の観光案内所と同等に位置づけることは、現在の状況においては難しい部分があります。

また、情報発信施設という観点からでは、現在の受託先であるシルバー人材センターの方では、情報発信に関し、少し対応できない部分も散見されています。

利用実績から見た駅前の休憩時間調整施設については、民間の喫茶店も三好ヶ丘駅周辺にはあり、こうしたことから、現在及び将来の課題ということで、総合計画に掲げた施設の目的やゾーニングが周囲の土地利用見込みや、現在の管理運営方法の間に乖離が見られるため、休憩時間の調整としての利用が多い状況です。

そのため、本来の設置目的である、市外からの利用者を取り込むというためには、根本的に施設の活用方法を見直す必要があると思います。

具体的には、展示スペースが手狭な点や物販のあり方等法規制もあり、なかなかソフト的にもハード的にも来訪者へのPR施設としての課題は、明白に得られている状況です。

コストについては、先ほどもご説明しました、シルバー人材センターへの委託料が主な経費となっており、なかなか企画へ回す予算がないのが実情です。

結論といたしまして、産業課としてはビジターセンター企画運営検討委員会での提案を踏まえながら、本市のPRの場となるよう課題解決の議論と、その対策を講じてきたわけですが、なかなか打開できていないこともあり、限界感だとか、手詰まり感がございます。この機会に、根本的かつ抜本的に施設目的や活用方法

	について、アドバイスをいただけたらと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
村松会長	ただいま説明をいただきましたが、何か質問等ありますでしょうか。
鈴木豊實委員	鈴木豊實でございます。 実は、ビジターセンターについて私自身関心があり、見学といいますか実際に行ってきました。場所的には本当に一等地で良い所ですよ。 中に入り、ビジターセンターの方から少し説明を聞いたのですが、カリヨンハウス全体としては、いろいろな機能を持っており、市外から来た人にはちょうど駅前で絶好の場所ですが、非常にこじんまりしていました。ビジターセンターそのものが、展示物も若干あり、物販も今ご説明のあったとおりに置いてありましたが、規模が非常に小さい印象でした。僕が思ったのは、市外から来た人がどのような理由で立ち寄るのかわかりませんが、市民の交流の場として使おうということになると、もう少し規模を拡大した方が良いと思います。例えば、ビジターセンターの隣にイベント広場がありますよね。広場でも物販など行っていることもあるようですが、そこを活用するのも良いと思います。 また、一番思ったことは、駐車場が駅前にほとんどなく、車が停められない状況です。南側に駐車場が若干ありますが、非常に少ないため、なかなか寄り付きにくいと思います。非常に良い場所のため、もう少し利用しやすいようにできればと思います。いろいろ問題はあろうかと思いますが、いつも閉まっている東海学園大学と書いてある、開かずの部屋もありますので、そこも活用するなどご検討いただけたらと思います。
廣瀬環境経済部次長 兼産業課長	ご指摘のとおりだと思います。
村松会長	他にいかがでしょうか。
富田委員	富田です。お願いします。 ビジターセンターは、にぎわいの創出の観点から始まっていると思いますが、もともとは、市が民間から譲り受けた建物になります。 にぎわいの創出とは何かということで、先ほど説明があったように市外の方が来たり、ビジターセンターを中心に情報発信したりする拠点基地を作りたいということだったと思いますが、その時に観光事業だとか、農産物の販売だとかを商工会にお願いするなどして実施しましたが、結果的に事業費がかかるだけで、人が集まらないというのが実態だと思います。そのため、担当課は非常に困ったと思います。 ビジターセンターの設置当時、にぎわいの創出は本来官がやるものではなく、民間に委ねるべきだといった意見もありました。そういった点も踏まえ、民間利用、正式に言うと民間委託をし、民間を交えて検討していけると良いと思います。 現在は、建物が公用財産、つまり行政財産になっていると思いますが、基準を下げて民間でも幅広い利用ができるよう、そして三好丘や福谷など周辺地域が活性化するような対策をしていただければと思います。
廣瀬環境経済部次長 兼産業課長	以前は、みよし市の商工会に管理運営をお願いしていました。富田委員はご存知だと思いますが、なかなか内容的に成り立たなかったのか、割と早い時期で撤退した経緯もあり、それ以降は公共でお預かりしている形となっています。 そのため、民間がどういった形で今から使えるかということを含めた問題、課題について検討が必要かと思っています。
村松会長	商工会に管理運営をお願いしましたが、うまくいかず撤退し、現在の状況になっているとのことでした。 ほかにご意見はありますでしょうか。
鈴木文生委員	鈴木文生と申します。お疲れ様です。 ビジターセンターは、今までにもいろいろな手段を講じても駄目だったという背景があります。駐車場がないことと、ペDESTリアンデッキを通過して、

	<p>ビジターセンターの前を歩いてくる人が少ないといった動線の問題もあると思います。</p> <p>また、以前は施設内に喫茶店がありましたが、喫茶店が外に出られたこともあり、駐車場が狭くなった部分もあるかもしれませんが、いろいろ手を尽くしても駄目だったということで、いったん区切りをつけて、将来何か活用方法があるかもしれませんが、今までの歴史は歴史として、一度手を引かれても良いかなと思います。</p>
村松会長	<p>大胆なご提言で手を引いたらどうかということでした。なかなかそれも難しいかと思いますがいかがでしょうか。</p>
廣瀬環境経済部次長 兼産業課長	<p>なかなか区切りの付け方といいますか、そこに案がなかったため、今のような状態がずっと続いている形となっております。</p>
村松会長	<p>分かりました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
望月副会長	<p>望月です。よろしくお願ひします。</p> <p>にぎわいの創出を目的としているとのことですが、一方で情報プラザ的な位置づけもあると説明がありました。現在の委託先であるシルバー人材センターが情報発信に関し、対応できない場合というのは、どのような場合ですか。</p>
廣瀬環境経済部次長 兼産業課長	<p>産業課の所管でございますので、市内の産業の紹介というような形を込めまして、市内企業のパネルを展示していますが、その企業の紹介になると、何をやっている会社かというのは、シルバー人材センターの方では説明しきれない部分があります。</p>
望月副会長	<p>それぞれに対応したウェブサイトの制作も少し考えられると思いますが、先ほどの鈴木委員のご意見と私も近いのですが、にぎわいの創出にこだわるのではなく、目的からもう少し考え直してみるというのも、一つの手段ではあるなと思っています。</p>
村松会長	<p>現状なかなか難しいということで、やはり情報発信ができないのは、非常にネックになっていると思います。</p> <p>SNSの時代になって、それぞれの情報が発信できないとか、あるいはパソコンが使えないということだと思います。</p> <p>パソコンが一台あって、必要に応じてすぐ情報を引き出せる環境がないとなかなかお客さんも立ち寄ってくれない気がします。</p>
事務局	<p>SNSとか若者向けの魅力発信という部分で、事務局でもコラボなど何かやっているところですが、例えばマンホールカードが日本中で結構人気でして、みよし市も今年初めて10周年記念で作成したところ、配布数は初日に約400枚と多くの方がみえました。一つのデザインにつき、1箇所ではしか配れないため、もう一つ色を変えたものを作り、ビジターセンターで配布するといったことなど、いろいろ考えており、寄ってもらえる一つのアクションになるかとは思っています。ただ、それも一過性かと思いますが、豊田、岡崎では観光地にマンホールカードを置き、そこに人が集まるよう工夫をしているため、検討していきたいと思っています。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう少し対策をやってみてということで、すぐに撤退するというのもなかなか難しいと思いますので、2、3年様子を見て良いかと思ひます。</p> <p>例えば、写真コンテストを行っている事例がありますよね。私も、ゼミなんかでみよし市の活性化につながる取組として、料理コンテストをやるだとかムービーが流れるようにするだとか意見がでています。当然予算はかかってきますが、やはり情報発信の拠点としての位置づけとして考えてみてはどうかと思ひます。</p> <p>提案になるかどうかわかりませんが、委員の方からご意見をいただきましたので、それをまとめて事務局で検討していただくことになるかと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の事業に移りたいと思ひます。</p>

事務局	<p>三つ目の事業は、不妊治療費助成金事業になります。</p> <p>こちらは、第1回行政評価委員会において、委員の方より第2期まち・ひと・しごと創生【総合戦略】の冊子に記載している、第1期総合戦略検証結果の基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくりに関連する事業の中から挙げていただきました。今後の方向性は「現状維持」としてはありますが、不妊治療については、国も力を入れていることから、本市において今後どう取り組むべきか委員の方からご意見を伺えればと思います。それでは、健康推進課より説明をお願いします。</p>
二子石健康推進課長	<p>健康推進課長の二子石と申します。</p> <p>事業の概要を説明させていただきます。本事業名は、不妊治療費助成金事業となっておりますが、もう一本ありまして、不育症の助成金の事業も含めて、一つの事業となっております。</p> <p>まず、一般不妊治療の助成についてですが、これは一般の不妊検査及び不妊治療にかかる診療費の自己負担金と、人工授精にかかる自己負担金の一部を助成するという事業でございます。助成額につきましては、自己負担金の2分の1、1年度10万円を上限に、通算2年お支払いするというものです。</p> <p>不育症の助成につきましては、不育症の検査や治療にかかる診療費の自己負担の全額、ただし15万円を限度とし、1年度お支払いする事業でございます。</p> <p>こちらの事業の成果につきましては、一般不妊治療費が、令和2年度は44件、不育症の治療につきましては、5件の実績がございました。</p> <p>簡単ではありますが、以上説明とさせていただきます。</p>
村松会長	ただいま説明をいただきましたが、質問等いかがでしょうか。
鈴木豊實委員	<p>この事業は重要な事業であろうかと思えます。</p> <p>一つだけお聞きしたいのですが、事業を実施したことで、妊娠された件数、その達成率はいかがでしょうか。</p>
二子石健康推進課長	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>昨年度、本事業を使って妊娠された方の数ですが、先ほど申し上げました利用件数は、全体で44件となっており、そのうち9件が妊娠ということで、約20%の方が妊娠に結びついているという結果でございます。</p>
鈴木豊實委員	ありがとうございます。
村松会長	その他、ご質問はありますでしょうか。
鈴木文生委員	この事業の宣伝等PRについて、みよし市ではどのように周知されているのですか。
早田副主任	<p>以前、不妊治療費の助成を受けた方にアンケートを取ったこともあるのですが、約95%以上の方が、ホームページでご覧になって申請にこられる方が多いです。</p> <p>あとは、毎年一般不妊治療、不育症の申請は、2月末までの診療分を3月に申請していただく形になっていますので、毎年2月の広報にも助成金の申請についてのお知らせを掲載させていただいています。また、治療を行っている病院で教えていただき、申請された方もみえました。</p>
村松会長	よろしいでしょうか。その他何かございますか。
望月副会長	<p>望月です。よろしく申し上げます。</p> <p>令和3年度事務事業目的評価表のコストの部分で、令和3年度の計画値が3,350千円で、令和4年度の目標値は2,750千円とかなり減っていますが、理由を教えてくださいませんか。コストは急激に減っている気がする一方で、事業規模は縮小したように見えませんがいかがでしょうか。</p>
二子石健康推進課長	<p>こちらの事業の中で、不育症の助成事業につきましては、令和2年度から実施しています。そのため、予算編成時にどのくらいの方が申請されるかわからなかったため、概算で予算計上していましたが、令和2年度で実績値が確定し、実績に近づけるような形で目標値を定めたため、コストが減っています。</p>
望月副会長	令和2年度までは、不妊治療のみだったということですか。

二子石健康推進課長	令和元年度までは不妊治療のみで、令和2年度から不育症も併せて実施した形になります。
望月副会長	意義のある事業のため、是非ともしっかりやっていただきたいと思います。
村松会長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。 【意見なし】 それでは終了したいと思います。ご説明いただきましてありがとうございます。
事務局	ありがとうございました。それでは、10分間休憩とさせていただきますので、時間になりましたら席へお戻りいただきますようお願いします。 【10分休憩】 時間となりましたので、四つ目の事務事業である道路維持管理事業について、事務局から説明をさせていただきます。 こちら、第1回委員会において委員の方から挙げていただいた事業になりますが、市道のほか、県道、国道含め、市内の道路、歩道上に草が生い茂っている現状を踏まえ、道路の維持管理について検討が必要ではというご意見を委員の方からいただきました。今後の方向性は「現状維持」としてはありますが、方向性などについてご意見を伺えればと思います。なお、前回委員会において通学路に関するご意見もいただいたため、所管する教育行政課もヒアリングに同席していますのでご報告いたします。それでは、道路河川課より説明をお願いします。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	道路河川課長の久野と申します。よろしく申し上げます。 それでは、道路維持管理事業についてご説明させていただきます。 まず事業の内容ですが、道路利用者が安全に道路を通行できるように良好な道路環境を維持するため、道路パトロールや、道路舗装の補修、道路構造物の修繕及び点検調査、市道の街路樹の剪定や、緑地帯の除草、草刈、清掃などの維持管理事業をしております。 また、令和2年度よりマイシティレポートを活用しながら、直接市民の皆さんからの情報により、道路の不具合の修繕を行っております。 主な執行経費としましては、委託事業として43路線の道路、駅前広場、歩行者専用道路の街路樹の剪定や草刈、橋梁の定期点検業務を行っております。 工事につきましては、道路照明灯の建替工事、ガードレールなどの交通安全設備の修繕や、舗装の打ち替えを行っております。 事業の成果としましては、破損や危険箇所の早期発見と補修に努め、大きな事故を未然に防ぐことができたと思っております。 また、定期的な点検や計画的な修繕を行うことで、構造物の長寿命化を図ることができました。 今後の事業の方向性につきましては、区画整理事業や民間開発による道路新設をすることから、維持管理費は拡大していきます。 また、老朽化による修繕費の拡大も予想されるため、大規模な維持管理工事につきまして、事業費の平準化を図るためには、計画的な修繕を行うことが必要だと考えております。以上です。
村松会長	説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。
鈴木文生委員	端的に聞きますが、舗装の補修費用は足りていますか。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	舗装の補修費は、足りていません。 25年から30年ぐらい前に都市計画道路、幹線道路の整備が集中していたので、そろそろ全線補修が必要になってきているということで、舗装補修の予算というのは足りてない状況です。
村松会長	カバー率はどのぐらいですか。

久野都市建設部次長 兼道路河川課長	具体的な工事費など事業費ベースでということですよ。 道路の舗装構成などが違ってきますので、具体的な数字を全体では出していません。
村松会長	わかりました。 その他、よろしいですか。
望月副会長	望月です。よろしくお願ひします。 ついでの質問になりますが、対象となっている道路の数ですが、認定市道は平成31年度からずっと計画値が増えているわけですが、950本もあるのですか。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	認定市道は、先ほど少し説明させていただきましたが、区画整理事業や民間の開発などで整備された道路は市に帰属されますので、毎年毎年路線としては増えていくということになります。
望月副会長	ずっと増えていくという前提ですよ。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	路線が減るということはありません。
望月副会長	それにもかかわらず、予算は見合っていないということは、厳しい条件となっていますよね。すべて同じタイミングで舗装が必要だということではないと思いますが、今後検討すべき点かと思ひます。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	日常の管理の中で悪いところを早期に発見し、絆創膏みたいに補修をしていくことも必要だと思ひています。放っておくとだんだん悪いところは広くなりますので、応急処置でしのいでいる状況です。
望月副会長	わかりました。ありがとうございます。
富田委員	昔は、みよしの道路は舗装率が高いと言われていましたが、現状今おっしゃられるように、道路は次から次へ悪くなっているものですから、なかなか指標として出しにくい部分がありますが、道路がきれいでない、まちはきれいにならないと思ひます。 道路の維持管理費が削られ、その分教育、福祉に回されてしまうと、事業は先送りになってしまいます。もう少し予算確保していただきたいと思ひます。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	現状、おっしゃられるように、道路は次から次へ悪くなっていきますので、再整備率など指標を作っていませんでしたが、幹線道路などについては、指標を作り、予算を確保していくことも必要かと思ひていますので参考にさせていただきますと思ひます。
村松会長	その他、何かございますか。 【意見なし】 それではご説明いただきましてありがとうございました。次の事業について説明をお願いします。
事務局	続きまして、交通安全施設整備事業についてです。 こちら、先ほどの道路維持管理事業に関連し、委員の方から挙げていただいた事業になります。昨年度もカーブミラー、車止めの設置など、道路を安全に利用していただくための環境整備がなされていますが、今後も安全対策が必要となってきます。今後の方向性は「現状維持」としてはありますが、委員の方から事業を進めるにあたってのご意見を伺えればと思ひます。それでは、道路河川課から説明をお願いします。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	交通安全施設整備事業についてですが、事業の内容は、市道に関わる交通安全施設の整備を行っております。 主な執行経費としましては、交差点にカーブミラーの設置や通学路に指定された横断歩道部の開口部に車止めや横断歩道の前後に、ガードパイプなどを設置しております。 また、本年度につきましては、市道山ノ間小林線、上ヶ池東谷線の2路線について、歩道設置の築造を行っております。 事業の成果としましては、横断歩道の開口部に車止めを増設することで、横断歩道のたまり場に車両の乗り込み防止をすることができ、歩行者の安全を確保す

	<p>ることができたということになります。</p> <p>今後の事業の方向性につきましては、交通量の多い通学路での歩道設置や、歩車道ブロックで分離している形態をガードパイプに変更するなど、教育委員会が主催します通学路の安全点検の結果を踏まえて検討する必要があると考えております。</p>
村松会長	説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。
野々山委員	<p>交通安全整備について、公安委員会と道路管理者の区分分けはどのようになっているか、教えていただきたいと思います。</p> <p>公安委員会は警察ですが、道路にラインを引く場合は、どのように決めているのか、例えば、道路の白線は誰がやるのか、標識は誰がやるのかといった区分があるかと思います。</p>
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	道路の外側線を施工するのは道路管理者になりますが、横断歩道や、止まれなどの文字など規制に関する内容については、公安委員会が引きます。
野々山委員	三吉小学校の近くも信号のない交差点があり危険ですよ。
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	<p>事故の多発地点や学校の周辺、通学路をメインにカラー舗装をしていますが、交差点全体を赤く塗る工事は、お金がかかるため、試験的に新たな路面標示を行う工事を発注しています。新学期が始まる前までには完了していると思しますので、でき上がったら見ていただければと思います。</p> <p>試験的にやるため、耐久性や効果を確認したいと思っています。</p>
野々山委員	<p>分かりました。</p> <p>また、令和3年度事務事業目的評価表の成果指標の自転車・歩行者専用道路整備率が平成31年度から83.5%と横ばいになっていますが、どういった理由でしょうか。</p>
久野都市建設部次長 兼道路河川課長	歩行者専用道路は、主に区画整理地内にありますが、残りの約17%がどこになるのか、把握しておりません。申し訳ございません。
村松会長	他にいかがでしょうか。
鈴木文生委員	みよし市が安全・安心な街で4位という記事を見たのですが、安全というのは防犯なのか、どういった内容になりますか。
村松会長	<p>おそらく犯罪率ではないかと思います。海外の場合は、犯罪率です。</p> <p>また、千葉県で悲惨な事故がありました。その後国が調査をするようにということで、指示があったと思います。教育委員会の範疇かもしれませんが、何か確認はされましたか。</p>
岡田教育部次長 兼教育行政課長	<p>教育行政課長の岡田です。よろしくお願ひします。</p> <p>千葉県八街市の事故を受けまして、国からの話もあり、毎年安全点検をやっていますが、その中で今までにない観点として、三つほど新しい視点で危険箇所を学校から挙げてもらいなさいということで、見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や、大型車の進入が多い箇所、二つ目が過去に事故に至らなくても、ヒヤリハットの事例があった箇所、三つ目が保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所などについても、学校でもし該当するような箇所があれば、挙げていただいております。合同点検をこの夏休みに実施しています。</p>
村松会長	状況はどうでしょうか。
岡田教育部次長 兼教育行政課長	状況につきましては、今回特にガードレール、ガードパイプの設置について多くの要望がありましたが、基本的には歩道が設置されているようなところについても、ガードパイプを設置してほしいというような要望もあり、現在、教育委員会では、本当に必要なところはどこか基準的なものを作って、必要であれば予算に反映させていきたいと考えております。
村松会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>

富田委員	<p>一つお願いで、国道、県道、市道とあり、市道は比較的白線ラインだとか、全体のラインが消えていないことが多く、やっていたかと思いますが、最近県道の豊田知立バイパスは、草も多いほか、線もない状況です。市に要望しても難しいかもしれませんが、道路の維持管理を要望したいと思います。</p>
村松会長	<p>委員の方よりご意見を多くいただけたと思います。私自身もやはり安心安全な地域づくりをしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。 ご説明いただきましてありがとうございます。以上で終わりということにさせていただきます。 それでは、次の事業について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>最後の評価対象事業になりますが、リサイクル推進事業について説明をさせていただきます。 こちら、第1回委員会において委員の方から挙げていただいた事業になりますが、委員の方よりSDGsについて市民の認知度が高まってきている中、SDGsに結び付き、市民の生活にも関係するリサイクルについて、より推進していくべきではというご意見をいただきました。今後の方向性は、すでに「拡大」としてはありますが、委員の方から事業を進めるにあたってのご意見を伺えればと思います。それでは、環境課より説明をお願いします。</p>
成田ゼロカーボン推進監 兼環境課長	<p>環境課長の成田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。同席しているのが、副主幹の三浦です。 私からは、リサイクル推進事業についてご説明させていただきます。A3サイズの資料をご確認ください。 事業の概要と、令和2年度の取り組み内容についてですが、ペットボトルや新聞紙など、再利用資源となる23種類の回収資源ごみの有効利用や、ごみの減量化を推進して、市民のリサイクル意識の向上を図るため、リサイクルステーションを運営しております。 昨年7月からは、新たに三好公園第4駐車場の北側にリサイクルステーションを新設しまして、現在では市内3箇所のリサイクルステーションで資源ごみを回収しております。 また、ごみ減量化対策の一環として、家庭からの生ごみを減量化し、あわせて東郷美化センターから発生する残さの減少及び最終処分場の延命を図るため、生ごみ処理機や、生ごみ堆肥化容器を購入する市民に対しまして、補助を行っております。 続きまして、近隣市町の状況ですが、西三河地区の市町や尾三衛生組合構成市町では、令和元年度のリサイクル率が14.1%から30.2%となっておりまして、平均として19.7%となっております。 本市は、18.7%のリサイクル率となっており、近隣市町の平均に対しマイナス1%となっております。 現在及び将来の課題、そしてコストについてですが、現在本市では、分別収集している白色トレイやシャンプーなどのボトル類、ポリ袋などのプラスチック製容器包装につきましては、再資源化するため分別収集しておりますが、それ以外のバケツだとかおもちゃなど、プラスチック製品のごみにつきましては、燃やすごみとして、収集して処分しております。 国はプラスチック製容器包装や、燃やすごみの中にまじっているプラスチック製のごみなど、多様な物品に使用されているプラスチックごみについて、包括的に資源循環体制を強化して、プラスチック製品の再資源化を図るため、令和3年6月11日にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律を公布いたしました。この法律の公布に伴い、国はプラスチック製容器包装の再資源化を取りまとめている公益財団法人日本容器包装リサイクル協会と現在協議調整を進めており、今後省令、政令の整備を行い、国の基本方針を定めていくこととしております。 本市としましても、今まで燃やすごみとして取り扱ってまいりましたプラスチック製のごみについて再資源化を図ることで、ごみの減量化にもつながるため、今後は国の動向を注視しながら、来年度末までに、プラスチック製ごみの分別収集の</p>

	<p>方針を研究検討して参りたいと考えております。</p> <p>このようなことを踏まえまして、令和4年度から令和5年度に予算の増額を見込みました。主な増額内容としまして、令和5年度から、プラスチック製品の再資源化処理料が増大するため、中間処理業者へ支払う中間処理手数料及び公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払う再製品化業務負担金を増額いたしました。</p> <p>簡単ではありますが、説明とさせていただきます。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
富田委員	<p>富田です。よろしくお願ひします。</p> <p>リサイクル推進事業ですが、説明はよくわかりましたが、みよし市はリサイクルステーションなどに、ものすごいお金をかけていると思います。</p> <p>人件費や場所、それから処分料など費用がかかっています、僕が思うことは、民間でできること、公共でやらなければならないことを分けてほしいです。</p> <p>例えば、新聞や雑誌は、民間で集められるわけです。リサイクルステーションへ持ってきてもらえば、おそらく処分料などでお金になると思いますが、民間でも集められます。また、家電もステレオだとか民間が集めています。昔のものがすごい人気もあり、新品より高いこともあるようです。</p> <p>こうした状況のため、リサイクルステーションに集めることも良いですが、民間でやれるものともう少し分けていただくと良いかと思ひます。</p> <p>一方で、プラスチックについては、処分にもお金がかかりますので、公共でやるべきだと思ひます。</p> <p>公共が集めるものをやはり絞るべきだと私は思ひますので、その辺を研究していただけるとありがたいと思ひます。</p>
村松会長	<p>現状ではいかがですか。今富田委員からのご指摘について、お答えできることがありましたらお願いします。</p>
成田ゼロカーボン推進監 兼環境課長	<p>いただいたご意見について、これから調べるといったこととして参りたいと思ひますし、みよし市内、また他市町もそうだと思いますが、リサイクルステーション以外に、今おっしゃられていたように、民間でやれるような新聞、雑誌の回収などは、民間が個人の土地をお借りして設置し、それをリサイクルしている状況で、みよし市内でも14箇所ございます。リサイクルをする中で、皆さんの利用勝手が良いということもあって、民間の設置場所にもかなり流れているかと思ひますので、官と民の役割を分けるだとか、共同してやっていくだとかいうことも念頭に置いて研究しながら、今後リサイクルが向上するように考えて参りたいと思ひます。</p> <p>また、先ほどご説明したとおり、現在リサイクルステーションが3箇所ありまして、3箇所目につきましては昨年の7月にオープンしておりますが、毎月少しずつ利用率は上がってきておりますので、作った成果があるといひますか、近所の方が持っていけるような体制にはなつたと思ひます。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かご質問ございますか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>以上でご説明の時間を終わりたいと思ひます。ありがとうございます。</p> <p>6事業のヒアリングが終わりまして、事務局へお返しします。</p>
典 礼 富田次長	<p>委員の皆さま、長時間にわたりありがとうございます。</p> <p>本日の議題につきましては以上となります。</p> <p>なお、先ほど冒頭でも説明させていただきましたが、本日のヒアリングを踏まえ、外部評価シートのご記入をお願いいたします。後日郵送等にて提出される方につきましては、期限を切つてしまい申し訳ありませんが、9月3日金曜日頃までにご提出いただけると助かります。</p> <p>次回の委員会では、委員の方からご提出いただいたヒアリング結果をとりまとめた、令和3年度事務事業評価の行政評価報告書をご確認いただく予定です。</p>

開催日につきましては、事前に候補日として10月4日月曜日をご連絡させていただきました。ご都合がよろしければ日にちを決定し、開始時間を午前10時30分からとさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。場所も本日より同じになります。

【意見なし】

それでは、10月4日に決めさせていただきます。なお、新型コロナウイルスの感染状況等によっては、開催方法等を代えさせていただくかもしれませんが、その際はお願いします。

また、開催のご案内は改めて通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和3年度第2回みよし市行政評価委員会を終了いたします。

恐れ入りますが、礼の交換をさせていただきますのでご起立ください。

一同礼。ありがとうございました。

【閉会】